

共通科目名	臨床病態生理学		時間	47
学ぶべき事項	1.臨床解剖学総論			
	2.臨床生理学総論			
	3.臨床病理学総論			
	4-1.臨床解剖学各論			
	4-2.臨床生理学各論			
研修概要	臨床解剖学総論/臨床解剖学各論		臨床解剖学は、人体の正常な構造を明らかにする学問である。人体の正常な構造と機能の正確な理解によって、人体の異常な状態、病気の成り立ちを認識することができ、その診断や治療へとつながる。臨床解剖学総論では、人体の構成単位における細胞の基本構造について学習し、ヒトの体の成り立ちや精巧さについて、またかたちの所以・理由についての講義によって、人体を俯瞰した理解ができるように講義を行う。臨床解剖学各論では、総論で学習した知識をふまえ、全身の器官・臓器について個々の構造を学習し、なぜそのような構造をしているのかを、その器官・臓器の働きと関連づけて理解する。	
	臨床生理学総論/臨床生理学各論		生理学は生体の機能とそのメカニズムを解明する学問である。臨床解剖学で人体の形態と構造を学んだ後の学習のステップとして、臨床生理学でその役割と機能を学ぶ。臨床生理学総論では、人体の生理学的な機能異常と病態の関係を理解し、主な病態（炎症、栄養・代謝障害、先天性疾患と老化、がん）の原因と機序について学ぶ。臨床生理学各論では人体の生理学的な機能異常に基づく代表的な疾患を理解し、エビデンスに基づいた最善のケアを提供できるよう、生理機能評価の方法と実際を学ぶ。	
	臨床病理学総論/臨床病理学各論		臨床病理学は、疾病の原因、病変の発現機序、それらの因果関係及び相互関係を考察し、正しい疾病観と疾患の具体的概念を学習し、理論と同時に臨床医学への基礎作りも兼ねるものである。臨床病理学総論では、ヒト個体内の各機能連関と恒常性を学び、外界との反応を理解しその原理を学ぶ。臓器、組織を越えて共通して見られる病変を成立機序とその病因、種類、転帰などを総括的に把握する。臨床病理学各論では、臨床病理学総論で学んだ知識に基づき、各器官・臓器ごとの疾病の定義と特徴および顕微鏡所見、病因論などを学ぶ。	
到達目標	高度な看護実践に向けて、臨床病態（症状とメカニズム）について理解を深め、患者の身体を統合的に把握するための基礎知識を習得し、患者に対する援助方法や正常な機能へ戻すための方法について自ら考え、対策を立て、対処できる人材の育成を目標とする。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（44時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（2時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験（1時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番
1.臨床解剖学総論 人体の構成単位における細胞の基本構造を学ぶ	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	1
	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	2
2.臨床生理学総論 ヒト個体内の各機能連関と恒常性を学び、外界との反応を理解する	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	3
	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	4
3.臨床病理学総論 主な病態（炎症、栄養・代謝障害、先天性疾患と老化、がん）の原因と機序について学ぶ	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	5
	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	6
	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	7

4-1.臨床解剖学各論	神経系Ⅰ（中枢神経、高次機能、運動系） 神経系Ⅱ（末梢神経系、感覚系）	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	8
	循環系Ⅰ（心臓） 循環系Ⅱ（血管、リンパ管）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	9
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	10
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	11
	自律神経・内分泌	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	12
	運動系Ⅰ（総論） 運動系Ⅱ（上肢・下肢）	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	13
	消化系Ⅰ（口、消化管） 消化系Ⅱ（肝臓、胆嚢、膵臓、代謝）	宮澤 正樹	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器内科	講義	14
	生殖（臨床生理学各論も含む）	村瀬 真理子	横浜市大附属市民総合医療センター生殖医療センター 担当部長	講義	15
	細胞・遺伝子	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	16
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	17
	免疫	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	18
4-2.臨床生理学各論	神経系Ⅰ（中枢神経、高次機能、運動系） 神経系Ⅱ（末梢神経系、感覚系）	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	19
	循環系Ⅰ（心臓） 循環系Ⅱ（血管、リンパ管）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	20
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	21
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	22
	自律神経・内分泌（臨床病理学各論も含む）	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	23
	運動系Ⅰ（総論） 運動系Ⅱ（上肢・下肢）	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	24
	消化系Ⅰ（口、消化管） 消化系Ⅱ（肝臓、胆嚢、膵臓、代謝）	佐藤 就厚	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器外科	講義	25
	細胞・遺伝子 1	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	26
	細胞・遺伝子 2	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	27
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	28
	皮膚・感覚器系 1	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	29
	皮膚・感覚器系 2	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	30
	感染	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	31
	免疫	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	32

4-3.臨床病理学各論	神経系Ⅰ（中枢神経、高次機能、運動系） 神経系Ⅱ（末梢神経系、感覚系）	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	33
	循環系Ⅰ（心臓） 循環系Ⅱ（血管、リンパ管）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	34
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	35
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	36
	消化系Ⅰ（口、消化管） 消化系Ⅱ（肝臓、胆嚢、膵臓、代謝）	宮森 弘年	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 顧問・科長	講義	37
	生殖Ⅰ	村瀬 真理子	横浜市大附属市民総合医療センター生殖医療センター 担当部長	講義	38
	生殖Ⅱ	村瀬 真理子	横浜市大附属市民総合医療センター生殖医療センター 担当部長	講義	39
	細胞・遺伝子	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	講義	40
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	41
	感染	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	42
	免疫	高橋 秀美	日本医科大学医学部 微生物学・免疫学教室 主任教授	講義	43
	がん	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	44
	5.臨床病態生理学 演習	エネルギー	勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	演習
炎症		勝部 憲一	学校法人青淵学園東都医療大学教授	演習	46
科目修了試験				試験	47

共通科目名	臨床推論		時間	45
学ぶべき事項	1.診療のプロセス			
	2.臨床推論の理論と演習			
	3.医療面接の理論と演習・実習			
	4.各種臨床検査の理論と演習			
	5.画像検査の理論と演習			
	6.臨床疫学の理論と演習			
研修概要	診療のプロセス	患者の症候からその病態を推理する診療のプロセスとして症候診断の基本的な考え方を学ぶ。		
	臨床推論の理論と演習	患者が訴える症候から疾患群を想起し、何が最も疑わしいかについて一定の様式で臨床推論を行うため、症候学は臨床診断を行う上で重要な概念である。疾病を病因や病態からとらえるのではなく、患者の示す様々な訴えや診察所見から疾病を定義・分類し、主要な症候から疾患の診断ができるように、知識を統合し得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。		
	医療面接の理論と演習・実習	医療は患者との間の良好な信頼関係の形成から始まるものであり、良好な人間関係の構築と病歴の聴取及び身体所見の適切な取得には、一定の水準に達した診察技量が必要である。信頼関係の形成の基礎となる医療面接についての知識およびコミュニケーション技法を身に付け実践する。		
	各種臨床検査の理論と演習	臨床検査の著しい進歩により病態・疾病を正確に診断することができるようになり、医療現場で臨床検査は大きな役割を担っている。日常頻繁に使用されている臨床検査項目について、検体採取から臨床的意義並びに検査値の基本的な考え方など、臨床検査を中心とする一連の診断プロセスと病態との関係を総合的に学習する。		
	画像検査の理論と演習	近年の画像検査の進歩は著しいものがあり、現在の医療では不可欠な検査となっている。各種画像検査の結果から総合的に診断が行われる現在の診断体系から考えると幅広い知識が要求される。X線写真、CT、MR、超音波断層、核医学検査等の各種検査の臨床的意義、使用する装置の特性、そして実際の検査方法から結果の判読・評価に至るまで、基礎的な知識から臨床の場に即した検査結果と病態との関連について体系的に学ぶ。		
臨床疫学の理論と演習	客観的な疫学的観察や統計学による治療結果の比較に根拠を求めながら、実地診療における臨床判断を、エビデンスに基づいて実施するために、臨床疫学の理論およびそれをコミュニケーションすることの重要性や手法論を学習する。			
到達目標	①主要な症候から疾患の診断ができるようになるために、知識を統合し、関連する病態生理を理解し、得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。			
	②診療プロセスのために有用な医療面接、各種臨床検査や画像検査などの検査所見から得られる情報を説明できる。			
	③各種臨床検査、画像検査を受ける対象者や家族に必要な支援ができる。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ロールプレイによる演習の評価			
	実習：ロールプレイ・デブリーフィングによる実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（35時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（8時間）	通番64,65,66：視聴時間（イントロ）5分＋ケーススタディ（症例提示2分＋個人ワーク8分＋グループワーク10分＋視聴時間（解説）5分）×2＋視聴時間（まとめ）5分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
		通番69,70：視聴時間（イントロ）10分＋ロールプレイ（準備5分＋ロールプレイ10分＋振り返り10分＋全体共有5分）＋グループ討論10分＋視聴時間（まとめ）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
		通番80,86,91：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	実習（1時間）	演習に基づき、臨床現場でよく出会う患者像で指定研修機関がシナリオを考えてロールプレイ・デブリーフィングによる観察評価を行う		
試験（1時間）	科目修了試験60分			

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.診療のプロセス	症候診断の基本的な考え方	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	48
	医学的診断のHowTo～医師は病気をこうとらえている～	石松 伸一	聖路加国際病院 副院長/救急部部长	講義	49

2.臨床推論（症候学を含む）の理論と演習	症候論（1）頭痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	50
	症候論（2）めまい	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	51
	症候論（3）失神	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	52
	症候論（4）意識障害	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	53
	症候論（5）しびれ	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	54
	症候論（6）胸痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	55
	症候論（7）動悸	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	56
	症候論（8）呼吸困難	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	57
	症候論（9）腹痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	58
	症候論（10）嘔気	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	59
	症候論（11）腰背部痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	60
	症候論（12）関節痛	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	61
	症候論（13）風邪	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	62
	症候論（14）全身倦怠	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	63
	ケーススタディ（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	64
	ケーススタディ（2）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	65
ケーススタディ（3）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	66	
3.医療面接の理論と演習・実習	コミュニケーション技法（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	講義	67
	コミュニケーション技法（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	講義	68
	演習：ロールプレイ（1）	前野 哲博	筑波大学附属病院総合臨床教育センター・総合診療科	演習	69
	演習：ロールプレイ（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	演習	70
	実習	指定研修機関		実習	71
4.各種臨床検査の理論と演習	心電図1 <基礎編>	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	72
	心電図2 <不整脈編>	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	73
	血液検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	74
	尿検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	75
	病理検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	76
	微生物学検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	77
	生理機能検査	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	講義	78
	その他の検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	79
	演習	谷内 正人	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 臨床検査部 臨床検査課	演習	80

5.画像検査の理論と演習	放射線の影響	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	講義	81
	単純エックス線検査	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	講義	82
	超音波検査	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	講義	83
	CT・MRI	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	講義	84
	その他の画像検査	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	講義	85
	演習	森下 毅	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 放射線課	演習	86
6.臨床疫学の理論と演習	診断、検査の基本	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	87
	研究デザイン	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	88
	EBM（1）	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	89
	EBM（2）	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	90
	EBMの実践 論文を読む 演習	岡田 悠偉人	ハワイ大学がんセンター がん疫学部疫学者	演習	91
科目修了試験				試験	92

共通科目名	フィジカルアセスメント	時間	45
学ぶべき事項	1.身体診察基本手技の理論 2.部位別身体診察手技と所見の理論 3.身体診察の年齢による変化 4.状況に応じた身体診察 5.演習・実習		
研修概要	対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。高度な看護実践を行うために、必要な情報を収集する身体面の観察技術(面接、視診、触診、打診、聴診、測定)を習得し、経緯や自覚症状などと照らし合わせながら問診を行い、観察した結果から対象者の健康状態を評価するまでの過程を学習する。また、小児・高齢者など身体診察の年齢により変化をとまうフィジカルアセスメントの知識、救急及び在宅医療の状況に応じた身体診察技術を修得する。		
到達目標	①日常的にみられる病態を系統的に理解し、より高度な看護実践に向け、病態生理学的状態をエビデンスに基づき判断できる知識・技術を身につける。 ②多様な臨床場面における重要な病態の変化や症状をいち早くアセスメントできる基本的な知識を身につける。 ③フィジカルアセスメントを活用し、症例に関する適切な情報収集・分析ができる。 ④病歴や身体所見などの情報を統合してアセスメントができ、今後必要となる処置や検査の予測ができる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 実習：ロールプレイによる実習の観察評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義 (39時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分	
	演習 (3時間)	視聴時間(イントロ)10分+グループワーク30分+視聴時間(解説)20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	実習 (2時間)	実習は指定研修機関で行う。ロールプレイによる実習の観察評価を行う	
	試験 (1時間)	科目修了試験60分	

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.身体診察基本手技の理論	身体診察基本手技の理論 (1)	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	93
	身体診察基本手技の理論 (2)	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	94
	身体診察基本手技の理論 (3)	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	95
2.部位別身体診察手技と所見の理論	全身状態とバイタルサイン①	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	96
	頭頸部	林田 祐彦 高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 眼科 社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	97
	胸部	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	98
	四肢・脊柱	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	99
	泌尿・生殖器	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長 (診療部長兼務)	講義	100
	乳房・リンパ節	鎌田 徹	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 乳腺外科	講義	101
	神経系	四本 竜一	東邦大学医療センター大森病院脳神経外科・神経内科病棟 主任看護師	講義	102
	心血管 (胸部)	粟師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	103
	呼吸 (胸部)	有田 孝	小倉記念病院 集中ケア認定看護師	講義	104
	骨格筋 (四肢・脊柱)	森井 太郎	森井整形外科病院長	講義	105
腹部	後藤 順一	河北総合病院 急性・重症患者看護専門看護師	講義	106	

2-1.全身状態とバイタルサイン② (症状別フィジカルアセスメント)	摂食嚥下障害	戸原 玄	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 准教授	講義	107
	悪心嘔吐	松田 昌悟	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器内科医長	講義	108
	発熱	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	109
	呼吸障害 1	戎 初代	東京ベイ・浦安市川医療センター 集中ケア認定看護師	講義	110
	呼吸障害 2	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	111
	ショック	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	112
	がん	久山 幸恵	静岡県立静岡がんセンター がん看護専門看護師	講義	113
	浮腫・脱水	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	114
	意識障害	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	115
	高次機能障害	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	116
	運動障害	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	117
	痛みとは	金出 政人	尚整会 菅整形外科病院 麻酔科・ペインクリニック	講義	118
	いろいろな痛み	高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	119
3.身体診察の年齢による変化	小児 1 乳幼児の救急トリアージに必要なフィジカルアセスメント	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	120
	小児 2 乳幼児特有のフィジカルアセスメント	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	121
	小児 3 小児における発達の評価と対応	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	122
	高齢者 1 高齢者の生理機能I	宮本 正治	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 内科	講義	123
	高齢者 2 高齢者の生理機能II	谷内 節子	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 言語聴覚士	講義	124
	高齢者 3 高齢者の生理機能III	川上 直子	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 作業療法士	講義	125
4.状況に応じた身体診察	救急医療 1 全身所見の観察	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	126
	救急医療 2 局所所見の観察(頭部～胸部)	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	127
	救急医療 3 局所所見の観察(腹部～四肢)	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	128
	在宅医療 1 地域包括ケアシステム時代の在宅医療 諸相における訪問看護の役割	太田 秀樹	医療法人アスム理事長/一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長	講義	129
	在宅医療 2 在宅医療における機器の管理について	鈴木 央	鈴木内科医院院長	講義	130
	在宅医療 3 状況に応じたフィジカルアセスメント 在宅医療	大澤 誠	医療法人あづま会 大井戸診療所理事長・院長	講義	131
5.演習・実習	全身状態・緊急度の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	132
	問診	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	133
	フィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	134
	適切な問診、意識の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	135
	腹部、胸部のアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	136
科目修了試験				試験	137

共通科目名	臨床薬理学	時間	46
学ぶべき事項	1.薬物動態の理論と演習 2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の相互作用の理論と演習 4.主要薬物の安全管理と処方の理論と演習		
研修概要	薬理学・薬理学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性・個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。		
到達目標	①薬理学・薬理学の基礎知識を深め、薬物投与の基本概念を理解できる。 ②薬物の作用機序、生体内動態、及び薬理作用と副作用の関係を説明できる。 ③各種疾病の基本的な病態生理を考慮した上で、薬理学的根拠に基づいた適切な治療薬物の効果的な使用方法を検討できる。 ④主要薬物の安全管理と処方の理論を理解できる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義（36時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分	
	演習（9時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	試験（1時間）	科目修了試験60分	

	学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番
1.薬物動態の理論と演習	総論Ⅰ 薬理学の基礎知識 1	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	138
	総論Ⅰ 薬理学の基礎知識 2	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	139
	総論Ⅱ 薬理学の基礎知識 1	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	140
	総論Ⅱ 薬理学の基礎知識 2	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	141
	演習	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	演習	142

2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の相互作用の理論と演習	精神神経系：精神神経疾患等 1 統合失調症	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	143
	精神神経系：精神神経疾患等 2 双極性障害	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	144
	精神神経系：精神神経疾患等 3 認知症, Parkinson病	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	145
	精神神経系：精神神経疾患等 4 てんかん, 睡眠障害	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	146
	精神神経系 演習	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	演習	147
	心・血管系：高血圧・脳血管障害・不整脈,心不全等 1 心不全	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	148
	心・血管系：高血圧・脳血管障害・不整脈,心不全等 2 不整脈	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	149
	心・血管系：高血圧・脳血管障害・不整脈,心不全等 3 冠動脈疾患	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	150
	心・血管系：高血圧・脳血管障害・不整脈,心不全等 4 高血圧	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	151
	心・血管系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	演習	152
	呼吸器系：気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患を含む肺疾患全般等 1 気管支喘息治療薬 (1)	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剤部長	講義	153
	呼吸器系：気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患を含む肺疾患全般等 2 気管支喘息治療薬 (2)	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剤部長	講義	154
	呼吸器系：気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患を含む肺疾患全般等 3 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 治療薬	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剤部長	講義	155
	呼吸器系：気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患を含む肺疾患全般等 4 咳嗽に使用される薬剤	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剤部長	講義	156
	呼吸器系 演習	中村 裕義	国際医療福祉大学薬化学研究科教授・三田病院薬剤部長	演習	157
	消化器系：消化管疾患・肝 (胆・膵) 疾患等 1 上部消化器疾患	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	158
	消化器系：消化管疾患・肝 (胆・膵) 疾患等 2 炎症性腸疾患	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	159
	消化器系：消化管疾患・肝 (胆・膵) 疾患等 3 ウイルス性肝炎	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	160
	消化器系：消化管疾患・肝 (胆・膵) 疾患等 4 膵炎	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	161
	消化器系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	演習	162
	内分泌・代謝系：糖尿病・甲状腺疾患等 1 経口薬療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	163
	内分泌・代謝系：糖尿病・甲状腺疾患等 2 注射薬療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	164
	内分泌・代謝系：糖尿病・甲状腺疾患等 3 脂質異常症の薬物療法	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	165
	内分泌・代謝系：糖尿病・甲状腺疾患等 4 高尿酸血症・痛風・甲状腺機能異常症の薬物治療	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	講義	166
	内分泌・代謝系 演習	清水 秀行	帝京平成大学薬学部薬学科教授 (前帝京ちば総合医療センター薬剤部長)	演習	167
	骨・関節系：関節リウマチ・骨粗鬆症等 1 関節リウマチ	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	168
	骨・関節系：関節リウマチ・骨粗鬆症等 2 骨粗鬆症	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	169
	腎・泌尿器系：腎疾患(腎不全他),前立腺肥大を含む 排尿障害等 1 排尿障害	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	170
	腎・泌尿器系：腎疾患(腎不全他),前立腺肥大を含む 排尿障害等 2 慢性腎不全	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	講義	171
	骨・関節系/腎・泌尿器系 演習	千堂 年昭	岡山大学医学部附属病院 教授・薬剤部長	演習	172
	抗がん薬 1	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	173
	抗がん薬 2	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	174
	抗菌薬 1	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	175
抗菌薬 2	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	講義	176	
抗がん薬/抗菌薬 演習	白石 正	山形大学医学部附属病院主任教授・薬剤部長	演習	177	

4.主要薬物の安全管理と処方 の理論と演習 ※年齢による 特性（小児/高齢者）を含む	医療安全：医薬品の安全管理・ハイリスク薬等1 エラー事例から学ぶ	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	178
	医療安全：医薬品の安全管理・ハイリスク薬等2 エラー再発防止への取り組み	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	179
	高リスク患者：小児,妊産婦,高齢者1 妊婦と授乳婦	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	180
	高リスク患者：小児,妊産婦,高齢者2 小児と高齢患者 代謝・排泄臓器機能の障害患者	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	講義	181
	演習	古川 裕之	山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長	演習	182
科目修了試験				試験	183

共通科目名	疾病・臨床病態概論		時間	60.5
学ぶべき事項	疾病・臨床病態概論Ⅰ	1.5 疾病の病態と臨床診断・治療の概論		
		2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論		
		3. 疾病・臨床病態概論Ⅰ 演習		
	疾病・臨床病態概論Ⅱ	1. 小児の臨床診断・治療の特性と演習		
		2. 高齢者の臨床診断・治療の特性と演習		
		3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習		
		4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習		
研修概要	5 疾病の病態と臨床診断・治療の概論/その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の5疾病およびその他の循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患等、プライマリ・ケアの場において遭遇することの多い主要な疾患・症状に対しての、病態生理、臨床像、治療についての基本的知識を学ぶ。		
	小児の臨床診断・治療の特性/高齢者の臨床診断・治療の特性と演習	小児の成長・発達を理解し、小児期特有の疾患の理解とその病態を学習する。また、細胞の老化の結果としての組織・臓器障害と各臓器間の調節機能障害に基づく高齢者の抱える老化関連疾患の多様な特性への理解を深める。		
	救急医療の臨床診断・治療の特性と演習/在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習	救急患者への対応や重症化予防の重要性を理解し、臨床診断・治療の特性に応じた治療を実践できる能力を培う。また、在宅医療において主要な病状の病態生理に基づいて、基本的な診察面接・身体診察・救急蘇生(Basic Life Support) の実際を学ぶ。		
到達目標	①頻度の高い主要疾患の診断・治療を理解する。			
	②年齢や状況に応じた臨床診断・治療(小児、高齢者、救急医学等)を理解する。			
	③臨床診断プロセスに必要な思考過程を身につける。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義(51時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分		
	演習(8時間)	視聴時間(イントロ)10分+グループワーク30分+視聴時間(解説)20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験(1.5時間)	科目修了試験90分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.5 疾病の病態と臨床診断・治療の概論	悪性腫瘍 1 診断	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	184
	悪性腫瘍 2 化学療法・放射線治療	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	185
	悪性腫瘍 3 手術療法	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	186
	悪性腫瘍 4 各種がん治療/がんの栄養療法	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 副院長	講義	187
	脳血管障害 1	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	188
	脳血管障害 2	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	189
	急性心筋梗塞	大島 一太	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 兼任講師	講義	190
	糖尿病	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	191
	精神疾患 1 こころのトラブル(せん妄を含む)	佐野 信也	防衛医科大学校 医学教育部医学科教授	講義	192
	精神疾患 2 気分障害の見立てと関わり	佐野 信也	防衛医科大学校 医学教育部医学科教授	講義	193
	精神疾患 3 統合失調症	井川 真理子	平沢記念病院 病院長	講義	194
	精神疾患 4 器質性精神障害	河本 勝	平沢記念病院 副院長	講義	195

2.その他の主要疾患の病態 と臨床診断・治療の概論	循環器系 1	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	196
	循環器系 2	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	197
	呼吸器系 1	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	198
	呼吸器系 2	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	199
	消化器系 1	刈崎 宇一郎	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 副病院長	講義	200
	消化器系 2	刈崎 宇一郎	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 副病院長	講義	201
	腎泌尿器系 1	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院副院長（診療部長兼務）	講義	202
	腎泌尿器系 2	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院副院長（診療部長兼務）	講義	203
	内分泌・代謝系	泉野 清宏	社会医療法人 春回会井上病院 病院長	講義	204
	免疫・膠原病系 1	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	205
	免疫・膠原病系 2	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	206
	血液・リンパ系 1 白血球系の異常	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	207
	血液・リンパ系 2 リンパ腫・出血性疾患	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	208
	神経系 1	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	209
	神経系 2	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	210
	小児科	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	211
	産婦人科	新井 隆成	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 産婦人科	講義	212
	精神系 うつ病患者への看護アプローチ	古田 光	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 精神科科長	講義	213
	運動器系 1	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	214
	運動器系 2	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	215
	感覚器系 1 主な頭頸部・耳鼻咽喉頭の疾患の診断・治療について	高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	216
	感覚器系 2 感覚器の臨床診断と治療 眼科領域	林田 祐彦	社会医療法人 春回会井上病院 眼科	講義	217
	感染症 1	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	218
	感染症 2	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	219
	その他 認知症 1	鷺見 幸彦	国立長寿医療研究センター副院長	講義	220
	その他 認知症 2	鷺見 幸彦	国立長寿医療研究センター副院長	講義	221
	その他 熱中症	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	222
	その他 心身症	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	講義	223
	3.疾病・臨床病態概論 I 演習	演習 1	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習
演習 2		徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習	225
演習 3		徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習	226
演習 4		徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）顧問	演習	227

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.小児の臨床診断・治療の特性と演習	有熱性けいれん	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	228
	気管支喘息発作	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	229
	救急対応が必要な疾患	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	230
	演習	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	演習	231
2.高齢者の臨床診断・治療の特性と演習	高齢者の生理機能の理解と複合的疾患の予防	佐藤 典子	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター老人看護専門看護師	講義	232
	せん妄・認知症患者への看護対応	佐藤 典子	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター老人看護専門看護師	講義	233
	高齢者における臨床診断・治療の特性	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	234
	高齢者における臨床診断・治療の特性 続き	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	235
	演習	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	演習	236
3.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	救急医療の臨床診断・治療の特性 1	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	講義	237
	救急医療の臨床診断・治療の特性 2	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	238
	救急医療の臨床診断・治療の特性 3	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	239
	演習	益子 邦洋	南多摩病院病院長/認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事	演習	240
4.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習	在宅医療の臨床診断・治療の特性	西山 雅則	織田病院副理事長	講義	241
	演習	西山 雅則	織田病院副理事長	演習	242
科目修了試験	※本試験は「疾病・臨床病態概論Ⅰ」「疾病・臨床病態概論Ⅱ」両方を網羅しています。省令上の学ぶべき事項と時間を満たすために、試験時間及び試験問題数を90分以上に設定してください（eラーニング上で設定・変更が可能です）。 例：科目修了試験 90分の場合の時間配分 [疾病・臨床病態概論Ⅰ：講義・演習44時間+科目修了試験67.5分=45時間以上] [疾病・臨床病態概論Ⅱ：講義・演習15時間+科目終了試験22.5分=15時間以上]			試験	243

共通科目名	医療安全学	時間	30
学ぶべき事項	1.医療倫理の理論/医療倫理の事例検討 2.医療管理の理論/医療管理の事例検討 3.医療安全の法的側面/医療安全の事例検討 4.ケアの質保証の理論/ケアの質の保証の事例検討 5.医療安全の事例検討に関する実習		
研修概要	医療内容の複雑化、高度化、社会構造の変化、国際化などにより、医療現場ではさまざまなリスクが発生している。本講義では、特定行為を行う看護師に必要な知識として、医療倫理、医療管理、医療安全そしてケアの質保証の知識を理解し事例検討及びグループディスカッションを通して、医療安全の理解・実践に多面的にアプローチする。		
到達目標	①医療安全に必要な医療倫理に関して理解できる。 ②医療管理に関する理論を習得する。 ③医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）に関する法的側面を理解する。 ④特定行為を実践するための患者の安全・安心の保証や、多職種協働を推進するための課題と方策を理解する。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 実習：ロールプレイ・デブリーフィングによる実習の観察評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義（19時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分	
	演習（9時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	実習（1時間）	全日病S-QUEが提供する多重課題シミュレーションのシナリオに基づき、指定研修機関で医療安全の実技を実施し、ロールプレイ・デブリーフィングによる観察評価を行う	
	試験（1時間）	科目修了試験60分	

学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番	
1.医療倫理の理論/医療倫理の事例検討	(1) 生命倫理・医療倫理の原則	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	244
	(2) 特定行為と患者の権利・医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	245
	(3) インフォームドコンセントと特定行為	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	246
	(4) 研究倫理と特定行為	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	247
	(5) 演習：医行為・医療ミスに関する倫理的諸問題を判例から分析する	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	演習	248
2.医療管理の理論/医療管理の事例検討	(1) 医療管理とは	大道 久	日本大学医学部名誉教授/JCHO横浜中央病院名誉院長	講義	249
	(2) 特定行為における医療マネジメント	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	250
	(3) リスクマネジメントと法規制	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	251
	(4) 特定行為における組織と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	252
	(5) 特定行為における個人と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	253
	(6) 特定行為における患者・家族と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	254
	(7) 特定行為における診療報酬と医療安全	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	255
	(8) 演習：特定行為に関連する医療安全に関する判例から分析する	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	演習	256
	(9) 演習：特定行為に関連する医療安全に関する判例から分析する	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	演習	257

3.医療安全の法的側面/医療安全の事例検討	(1) 病院が構築すべき医療安全体制 1	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	講義	258
	(1) 病院が構築すべき医療安全体制 2	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	講義	259
	(2) 医療事故調査制度	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	講義	260
	(3) 医療に起因する予期せぬ死亡 演習	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	演習	261
	(4) 院内事故調査委員会の運営 演習 1	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	演習	262
	(4) 院内事故調査委員会の運営 演習 2	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	演習	263
	(5) RCA (根本原因分析) 演習 1	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	演習	264
	(5) RCA (根本原因分析) 演習 2	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	演習	265
	(6) 医療への信頼醸成	長谷川 友紀	東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野 教授	講義	266
4.ケアの質保証の理論/ケアの質保証の事例検討	(1) 特定行為におけるケアの質保証～医療安全との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	267
	(2) 特定行為におけるケアの質保証～法規との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	268
	(3) 特定行為におけるケアの質保証～医療訴訟との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	269
	(4) 特定行為におけるケアの質保証～ケアと医行為との関連	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	講義	270
	(5) 演習：ケアの質保証に関する判例を分析する	日下 修一	聖徳大学看護学部 看護学科教授	演習	271
5.医療安全の事例検討に関する実習	実習	寺崎 仁	東京女子医科大学医学部医学科 医療安全科教授	実習	272
科目修了試験				試験	273

共通科目名	特定行為実践		時間	47
学ぶべき事項	1.多職種協働実践を学ぶ			
	2.特定行為実践のための関連法規を学ぶ			
	3.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ			
	4.特定行為の実践におけるアセスメント仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ			
研修概要	多職種協働実践を学ぶ（チーム医療の理論と演習・実習/チーム医療の事例検討/コンサルテーションの方法/多職種協働の課題）	チーム医療の理念と専門的サービスを提供する職種間の連携のあり方について学び、チーム医療の実際と今後チーム医療の中心としての特定行為研修を修了した看護師が担うべき役割について学習する。		
	特定行為実践のための関連法規を学ぶ（特定行為関連法規/インフォームドコンセントの理論/インフォームドコンセントの演習）	特定行為に係る看護師の研修制度創設の背景と経緯、制度の概要から、医師法、保健師助産師看護師法、特定行為に係る看護師の研修制度の関連法規等を学ぶ。また、患者の自己決定権を実現するシステムまたは一連のプロセスであるインフォームドコンセントの理論を学ぶ。		
	根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ（手順書の位置づけ/手順書の作成演習/手順書の評価と改良）	医師、歯科医師が看護師に特定行為を行わせるための「患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」の指示として作成する文書である手順書の位置づけを学び、手順書の作成演習、使用する手順書の妥当性の検討及び手順書の見直し等評価と改良の手法を学ぶ。		
	特定行為の実践におけるアセスメント仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ（特定行為の実践課程の構造/アセスメント、仮説検証、意思決定の理論/アセスメント、仮説検証、意思決定の演習）	看護師が特定行為研修を活用して臨床実践を行うために、医師が診断や治療を進めていく上での考え方のプロセスを医師と看護師が共有することが重要である。また、特定行為研修修了看護師の役割、機能に基づき、円滑な多職種協働の調整者として、特定行為の実践するためのアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を習得する。		
到達目標	①多職種協働実践（Inter Professional Work(IPW)）（他職種との事例検討等の演習を含む）の知識と実践能力をみにつける。			
	②特定行為関連法規について理解し応用できる。			
	③インフォームドコンセントの歴史について理解し、応用できる。			
	④手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後手順を評価し見直すプロセスを習得する。			
	⑤特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を習得する。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	実習：ロールプレイによる実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（23時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（15時間）	通番278,292,296,304,308,309,310,311,314,315：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分		
		通番285,286,294,318,319：全日病S-QUEが提供するリフレクションシートを用いて指定研修機関で実習の振り返りを行う		
	実習（8時間）	通番283,284：全日病S-QUEが提供する多職種協働実践のテキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番293：全日病S-QUEが提供するインフォームドコンセントのテキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番298,299,300：全日病S-QUEが提供するテキストに基づいて手順書の作成、評価、改良を行う		
試験（1時間）	科目修了試験60分			

学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番
医療の未来を支える 看護師特定行為研修の意義	有賀 徹	独立行政法人労働者健康安全機構/学校法人昭和大学	講義	274
(1) チーム医療の理論 ①チーム医療とはなにか	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	275
(1) チーム医療の理論 ②チーム医療を実践するために知っておくべきこと	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	276
(2) チーム医療の事例検討 ①チームとしての最大を発揮する	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	277
(2) チーム医療の事例検討 ②チームとしての最大を発揮する 演習	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	演習	278
(3) コンサルテーションの方法 ①コンサルテーション～どんな情報を伝え、何を求めるか	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	279
(3) コンサルテーションの方法 ②コンサルテーション～看護師からのコンサルに備える	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	280
(4) 多職種協働の課題 ①多職種の理解～リソースを確実に把握する 医療に携わる職種編	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	281
(4) 多職種協働の課題 ②多職種の理解～リソースを確実に把握する 医療に関連する職種編	山下 智幸	昭和大学病院 救命救急センター/昭和大学 医学部 救急医学講座	講義	282
実習 1	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	283
実習 2	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	284
演習 1【実習の振り返り】	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	285
演習 2【実習の振り返り】	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	286

2.特定行為実践のための関連法規を学ぶ	(1) 特定行為関連法規 1 なぜ看護師特定行為研修なのか〜その背景を考える	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	287
	(1) 特定行為関連法規 2 チーム医療の議論	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	288
	(1) 特定行為関連法規 3 看護師特定行為研修の実際	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	289
	(1) 特定行為関連法規 4 医療安全と法的責任	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	290
	(2) インフォームドコンセントの理論	長谷川 剛	上尾中央総合病院 院長補佐	講義	291
	(3) インフォームドコンセントの演習	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 顧問	演習	292
	実習	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	293
	演習【実習の振り返り】	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	294
3.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(1) 手順書の位置づけ	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	295
	(2) 手順書の作成演習 ペーパーシミュレーションによる演習	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	演習	296
	(3) 手順書の評価と改良	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	297
	実習 1	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	298
	実習 2	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	299
	実習 3	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	300
4.特定行為の実践におけるアセスメント仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ①特定行為研修に必要な制度の理解と活用	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	301
	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ②特定行為実践に必要な思考と実践	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	302
	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ③特定行為実践における倫理的側面	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	303
	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ④臨床場面における倫理問題の検討 演習	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	304
	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ⑤多職種との円滑な協働のためのマネジメント	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	305
	(1) 特定行為研修の活用と実践過程の構造 ⑥特定行為実践過程の構造	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	306
	(2) アセスメント、仮説検証、意思決定の理論 ①特定行為実践過程の検証 特定行為研修修了者の実践過程	加瀬 昌子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 特定看護師	講義	307
	(3) アセスメント、仮説検証、意思決定の演習 ①特定行為実践過程の検証 臨床判断までの過程の分析と振り返り 演習	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	308
	(3) アセスメント、仮説検証、意思決定の演習 ②自施設での特定行為研修修了看護師の役割の検討 演習	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	309
	(3) アセスメント、仮説検証、意思決定の演習 ③実践課題と具体的な対策 演習	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	310
	(3) アセスメント、仮説検証、意思決定の演習 ④特定行為研修修了看護師活用の展望 演習	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	311
	(4) 特定行為研修のアウトカム ①特定行為研修修了看護師の実践のアウトカム	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	講義	312
	(4) 特定行為研修のアウトカム ②特定行為研修修了者の実践例	増山 純二	長崎みなとメディカルセンター市民病院 救急看護認定看護師	講義	313
	(4) 特定行為研修のアウトカム ③特定行為研修のアウトカムの検討、評価 演習 1	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	314
	(4) 特定行為研修のアウトカム ④特定行為研修のアウトカムの検討、評価 演習 2	木澤 晃代	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 特定行為研修担当	演習	315
	実習 1	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	316
	実習 2	関西クリティカルケア・コミュニティ		実習	317
	演習 1【実習の振り返り】	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	318
	演習 2【実習の振り返り】	関西クリティカルケア・コミュニティ		演習	319
	科目修了試験				試験